



2022年 8月号

～ 目 次 ～

七夕	2
学生感想文	3
映画が語るもの	5
スケジュール	6
はらたち日記	7
会計報告	8



7月7日 七夕飾り

短冊に願いを込めて！



『交流ソフトボールのお知らせ』

日時：9月23日（祝・金）13時から15時まで

場所：障害者交流センターグラウンド

通所者と修了者交流のソフトボールを行います。
修了者の皆様、是非ご参加ください！
お待ちしております。

『2日間の実習を通して学んだ事』

国際医療専門学校看護学科 Y・S

アルコール依存症当事者のミーティングに参加して地域で暮らす精神に障がいをもつ利用者はアルコールを飲むために嘘を重ねて周囲に信用されなくなってしまい、人間関係構築に支障をきたすことが問題点と学んだ。嘘をつかないことは人と関係を構築する上で信用に関わるため重要だと感じた。利用者はミーティングの正直というテーマのなかで自分の考えていることや経験を正直に仲間に話すことで向き合っている事が解った。また、他人が自分のことをどう思っているのか気になってしまい、自分の限界以上の仕事引き受けて、孤立してしまい飲酒の悪循環に陥ってしまう。このことから他人の評価を気にするあまり、本当の自分も他人も認めることができないことも生活の支障であると考え。ミーティングで利用者が発言するときに必ず「アルコール依存症の〇〇です」と名乗ってから発言していた。これを行うことで現在自分がおかれている状況（ありのままの自分）を声に出して認めるとともに仲間にありのままの自分を伝えることで本当の自分と向き合えるのだと感じた。利用者はさいたまマックに通所しながら複数の社会資源を利用して、基本的な生活リズムを整えアルコールを必要としない生き方をするために生活を再構築しているのだと学んだ。職員の方は利用者にとっては嫌なことでもはっきりと伝えていた。しかし、嫌なことだけではなく、トイレの掃除がきれいにできていて、すごいねと対象の自己効力感を上げるような言葉をかけていた。正面から向き合って利用者もこの人ならありのままの自分を出してみてもいいかもしれないと感じてもらい、思いの表出を促し、話した思いを否定せず認めることが支援として需要であると考え。

2日間ご指導いただきありがとうございました。私も自分をよくみせたいと嘘をつくことがありますが、当事者の方々が正直にミーティングでお話しされているのを見て自分もありのままの自分を認めて相手に正直な気持ちを伝えられるようにしたいと思いました。人間が最初に関わる父親母親が子どもに与える影響はとても

大きいと感じました。看護は患者だけでなく患者を取り巻く家族にも支援が必要であると改めて感じました。この実習での学びを看護の実習に活かしたいと考えています。

『実習を通して学んだこと』

国際医療専門学校 M・Y

2日間のさいたまマックの実習を通して、まず、思ったのがスタッフの方と利用者の方がとても仲が良く見えました。同じアルコール依存症であったり、またその家族の方であると、利用者の方も思っていることを吐き出しやすいのだと感じました。また施設的环境もアットホームな感じがし、施設ではなく家のように感じました。ラジオ体操や掃除、など日常生活にあるようなことを行うことは、自立して社会復帰するためにとっても重要なことであると思いました。

実際にミーティングに参加して「ここは居心地がいい場所」、「繋がってよかった」、「家族と向き会えた」、「自分の本音を言える場所ができた」と発言が見れて、マックは利用者の中で一つの居場所になっていることが伝わってきました。また、さいたまマックだけでなくいろんな会場やAAに参加することで他の方とも交流が増え「仲間がいっぱいできた」、「尊敬している人がいる」と発言があり、人間関係を築いていける場所からでもあることを学びました。マックで些細なことでも自分の気持ちを吐き出したり他人の話を聞くことで自分1人だけではないと感じたり、聞いてもらえる事は利用者にとってストレス発散の場になっているのだということも学びました。利用者の方々のほとんどがマックの存在を家族や看護師やワーカーからお薦めされたと言っていました。必要な人にさいたまマックなど存在を知ってもらうことは早期の社会復帰に繋がると思いました。そのため看護師など患者と深く関わる職種は社会資源の情報を多く持っていくことは重要であることを学ばせていただきました。

映画が語るもの 「葡萄酒色の人生・ロートレック」

題名からして酒浸りの人生を送ったと思われるロートレック（1864～1901）は、フランスの画家・版画家でポスターを芸術にまで高めたことで有名である。彼はフランスの名家の伯爵家に生まれるが、13歳14歳と二度の左右大腿骨骨折で脚の発育が停止、成人した時も身長は152cmに過ぎなかった。この原因は両親がいとこ同士で結婚で遺伝子疾患とされている。父親の期待に応えられず疎まれたことや両親が不仲だったこともあり彼は母親と共にパリに住まうようになる。パリで画塾に学びファン・ゴッホやエミール・ベルナールらと出会っている。絵画モデルであったジュザンヌ・ヴァラドン（モデルから画家となりユトリロの母となる）と1884年頃に出会い、彼女の才能を評価し、ルノワールのモデルをしていることを皮肉って「ジュザンヌ（旧約聖書外典に登場するスザンナのことであり、スザンナは水浴中の姿を長老たちに覗き見され関係を迫られた女性である）」と名付けたのもロートレックであった。1889年の破局まで一緒に住んでいたこともあった。この映画ではロートレックとジュザンヌとの愛の軌跡を中心に描かれているので長く付き合っていたように思われるが5年程度である。ジュザンヌは情熱的な女性だったらしく多くの男性と浮名を流し、息子ユトリロより2歳年少の息子の友達と結婚している。ロートレックは、パリの「ムーランルーージュ」をはじめとしたダンスホールや娯館、酒場などに入り浸り、退廃的な生活を送りながら、踊り子の絵やダンスホールのポスターなどを多く描いている。アブサンなどの長年の飲酒で体を壊し、その上梅毒も患って次第に衰弱していった。家族によってサナトリウムに強制入院させられたが、短期間で退院し友人と旅行にでかけ、パリを引き払って母親の邸宅マルロ城で両親に看取られ脳出血で36歳で死去した。※アブサンは、ニガヨモギなどハーブを主原料とする緑色の蒸留酒、安価でアルコール度が70度もあるため中毒の恐れや幻覚作用があるとして1910年以降、禁止する国が多かった。1981年WHOが規制数値内であることを条件に製造を認めた。ゴッホもアブサン中毒だった。

8月の通所者プログラム

- 4日（木）調理実習（施設内）
- 13日（土）スポーツプログラム（障害者交流センター）
- 11日（木）AA 秩父G『感謝の集い』
- 18日（木）マックダルク合同オンラインミーティング
- 25日（木）ビジネスミーティング
- 27日（土）視聴覚プログラム
- 31日（水）マック便り発送

8月のスタッフ渉外活動・自己啓発活動

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 3日（水）マックダルク連絡会 | 18：30～20：30 |
| 5日（金）家族ミーティング | 19：00～20：30 |
| 6日（土）マック利用案内 与野中央病院 | 13：45～15：30 |
| 家族ミーティング | 18：00～19：30 |
| 9日（火）職員研修 | 15：30～17：00 |
| 19日（金）家族ミーティング | 19：00～20：30 |
| 20日（土）家族ミーティング | 18：00～19：30 |
| 24日（水）マック利用案内 県立精神医療センター | 14：00～15：00 |

はらたち日記

「あの人が残してくれた宝物・・・遺族の独り言」

影下 妙子

〇月〇日

非番の娘が帰って来て開口一番に言うのです。

「兄ちゃん達さあ、あの結婚式の帰り、軽井沢の駅の近所で結婚指輪買ったんだって。「えーッ？」また聞き慣れない言語が飛び込んできました。そして娘は続けるのです。「みんなから貰ったお祝い金で記念に指輪買おうか。って決めたらしいよ。そんな考え方、私も好きだなあ。」イヤハヤ私に突き付けられる追試はどこまで続くのかと途方に暮れました。

息子達夫婦がプロデュースした結婚式は滞りなく終えたと思い込み・・・何となく親の責任は果たせたかなあの錯覚に酔っていた、ある日の会話でした。

〇月〇日

そして数日後、想定内の喜び。何とマァ深秋にはノバ様になると聞きワクワク。今さら気付く目まぐるしい家族の変化、決して今に始まった事では無いはずです。毎日がハプニングで当たり前、皆みんな生きていますもの。いやあ～どうしたら良いのでしょうか？今まで私の目にはアルコール依存症の夫しか映っていたかったのです、アルコール依存症の夫しか頭になかったのです。

私は母として主婦として、いったい何をやって来たのでしょうか？

ウワァ～もう遅い！もう取り返しが着かない！反省とか後悔とかのレベルでは無い。足元から崩れ落ちる実感。飲もうが飲むまいがアル中にかまけて居る場合じゃないわ。

〇月〇日

家族の個々が努力して自分の生き方を探し歩いている今。アル症者の家族に、人並みな人生など来る訳が無い、人並みな幸せなど訪れるはずなど無いと、決め付けた自分が恥ずかしかった。さて我が家のアル症者も爺様になれるのでしょうか？

後援会6月会計報告

収入の部	会員献金	147,000	支出の部	事務費	9,692
	賛助会員	-		印刷費	6,000
	法人会員	50,000		通信費	19,800
	会場献金	-		行事費	-
	雑収入	-		雑費	561
	① 収入合計	197,000		② 支出合計	36,053
				③ 収支差額 (①-②)	160,947
		前月繰越金	1,090,102		
		次月繰越金	1,251,049		

-【後援会会員募集】-

暖かで家庭的な雰囲気引き付けられて訪れたアルコール依存者がいます。
 マックが醸し出す雰囲気は闇夜を照らす灯台。この灯を照らし続けるために、
 私たち後援会はマックと云う灯台を支えております。一人でも多くの
 人が支えの環に入って頂ければと思います。
 お問い合わせは、下記後援会までお願い致します。

発行：さいたまマック後援会

住所：〒337-0032 さいたま市見沼区東新井710-33

鎌倉ハイツ1階さいたまマック内

Tel & Fax：048-685-7733

ホームページ：<http://www.saitama-mac.com>

献金宛先：さいたまマック後援会<郵便振替>

郵便振替：00100-7-151361 さいたまマック後援会